

坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

- 【学校教育目標】
- やさしく (徳)
 - かしこく (知)
 - たくましく (体)

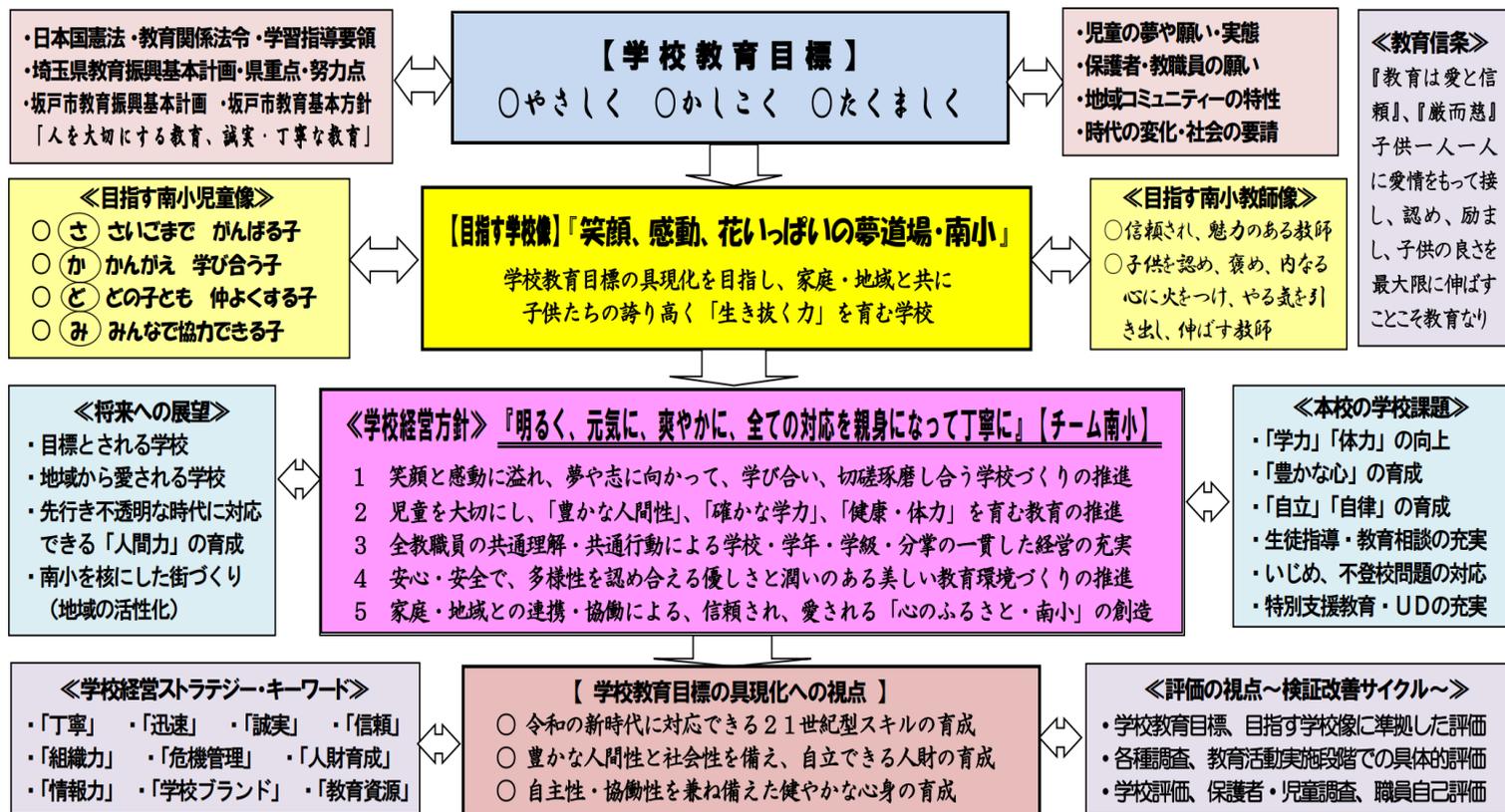
学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和6年7月9日
第5号 文責 鈴木 博貴

『笑顔あふれる魅力ある学校を目指して』～全ての子どもに「笑顔」と「質の高い学び」を～

本格的な夏を迎え木々の緑も深くなる中、令和6年度1学期もまとめの時期に入りました。学校生活でも、互いに協力し学び合い、切磋琢磨しながら着実に成長している南っ子たちの姿が毎日たくさん見られています。打てば響く素直で心優しい子供たちの姿に日々感動を覚えます。その様な子供たちを常に支え、応援してくださっている保護者・地域の皆様に改めて感謝申し上げます。地域の願いと大きな期待を受けて昭和55年に開校し、45年の歴史と伝統を誇る南小学校。これまで大勢の皆様を支え生まれ、築かれた伝統の重みを感じています。令和6年度も『伝統の継承と新たな挑戦』を胸に、全ての子どもたちに数多の「笑顔」と「質の高い学び」を保障するため、保護者・地域の皆様との信頼の絆をより確かなものとし、『笑顔 感動 花いっぱいの夢道場・南小』【チーム南小】として、次代を担う子供たちの『知・徳・体』のバランスの取れた「誇り高く生き抜く力」を育ててまいります。そして、引き続き教育推進先進校として目標とされる学校に、さらに誰もが愛し、誇れる「心の故郷(ふるさと)・南小」を創造してまいります。今後も変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

令和6年度 埼玉県坂戸市立南小学校 学校経営構想デザイン Ver.3



【本年度の取組の重点】「学び合い、高め合い」教育（児童⇄教職員⇄家庭⇄地域）～子供の自己肯定感を高め、人間関係形成力と学力の向上を図る教育の推進～

安心・安全な学校づくりの推進	充実した教育活動の推進	潤いある教育環境づくりの推進	教職員の共通行動の観点
<ul style="list-style-type: none"> ・「自己肯定感」を高める教育活動の充実 ・「望ましい人間関係づくり」の育成 (UD, SST, SGE, AT, IPS, Cog-Tr) ・児童理解の徹底 (hyper-QU, アンケート等) ・いじめ、不登校の未然防止と早期解消 ・家庭・地域・関係機関との連携・協働 ・通学路、施設・設備の安全点検と確認 ・組織的な危機管理体制の徹底・強化 (危機管理マニュアル活用と訓練の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・『学びづくり』授業改善、体験学習の充実 ・教科担任制、少人数指導、TTの充実 ・言語能力の育成 (言語活動の充実)、漢検 ・学力調査の検証による指導の工夫・改善 ・「早寝・早起き・朝ご飯」、家庭学習、家読、ノーマディア・チャレンジの推奨 ・幼・保、坂戸中・千代田中、筑波大附属坂戸高校、女子栄養大学、企業等との連携 ・学習指導要領の理念の実現・教育DXの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り、場を清め、礼を正す」【凡事徹底】 ・言語環境の整備、掲示教育、論語教育 ・特別支援教育、UD的視点による教育の推進 ・学校評価 (自己・関係者) の活用 ・教育の可視化 ⇒ 『誇れる南小』強化 ・委員会活動の充実・施設の有効活用 ・秩序と潤いある美しい学校づくりの推進 ・PTA、学校応援団との連携・協働 ・学校公開、学校運営協議会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一義『子供ありき』、『授業で勝負!』 (「一教入魂」)、「情熱・愛情・向上心」 ・「率先垂範」、「師弟同行」、「同僚性」 ・学校経営参画『南小プライド』(「南小魂」) ・『5見』⇒「見放さない」「見逃さない」「見過ごさない」「見守る」「見届ける」 ・『4実』⇒「事実」に基づき、「確実」「着実」「誠実」で丁寧な生徒指導・教育相談 ・危機管理『さしすせそ』・働き甲斐改革

【夢道場・南小『ほっとニュース』】

学校ホームページをリニューアル『学校ブログを新設』

既にご承知の通り、市内全学校の校務支援システムの変更に伴い、学校ホームページも一斉にリニューアルすることになりました。本校では、新たに『学校ブログ』を立ち上げ、日常の教育活動における南っ子たちの輝く姿や給食の画像などを随時アップして、『開かれた学校づくり』の手だてとして活用しております。既に、主な取組として以下のものを掲載しておりますので、保護者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様方も是非ご覧いただければ幸いです。

- 【全校】『1年生を迎える会』『お話朝会』『音楽朝会』『心の朝会』『児童朝会』『交通安全教室』『クラブ活動』『なかよしタイム』『運動会(応援練習・準備を含む)』『スイミングスクールでの水泳指導』『新体力テスト』『本日の給食』
- 【くすのき・さくら】『夏野菜の収穫』
- 【1年】『はじめての給食』『学校探検』『通学路探検』『朝顔の栽培』『生活科校外学習』
- 【2年】『学校探検』『食育・そら豆皮むき体験』『生活科の学習』
- 【3年】『リコーダー講習』『校外学習』
- 【4年】『環境学習』『社会科見学』『社会科体験学習』
- 【5年】『歯磨き指導』
- 【6年】『社会科見学』『国語・インタビュー学習』
- 【学校応援団】『学校図書、読み聞かせ、花壇等、各ボランティアの取組』
- 【PTA】『本部役員会・運営委員会』
- 【教職員】『心肺蘇生法研修会』『エビペン講習会』

【大学との連携事業】スチューデント・インターンシップ

本校では「(天の時)・地の利・人の和」(「天地人」)を活かし、女子栄養大学と様々な連携を行っています。学校独自の取組以外に、今年度も「坂戸市スチューデント・インターンシップ事業」が開始。昨年度、本校には10名以上もの多くの学生が教育実習や学校現場体験実習として派遣されました。今年度、既に2名の教育実習生と4名の女子栄養大学・城西大学の学生たちが、子供たちとふれ合いながら実習を行っています。さらに長期体験実習で4名の女子栄養大の学生と臨地実習で2名の坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校生も加わる予定です。

漢検 夢道場企画『ふれあい漢字検定』

南小・学びの絆プロジェクト「世代を超えた学び合い」の趣旨にご賛同いただきありがとうございます。今年で5回目となる漢字検定に、児童はもちろん、多数の保護者やご家族、地域の皆様にご応募いただき誠にありがとうございました。当日の8月21日(水)は、南小を会場に1年生から祖父母世代の方まで合計96名の皆さんが共に机を並べて、10級から2級にチャレンジします。また、今年も沢山のボランティアの皆さんが運営面でお手伝いしてください。本当にありがとうございます。

- 10級(8名) 9級(14名)
- 8級(15名) 7級(13名)
- 6級(15名) 5級(10名)
- 4級(7名) 3級(7名)
- 準2級(3名) 2級(4名)



【南小学校・学校運営協議会】

令和4年度から、市内の全ての小・中学校に学校運営協議会制度を導入し、学校と地域等の代表の方々が議論する場をつくり、学校・家庭・地域の連携を進めています。

【学校運営協議会(コミュニティスクール)とは】

子供たちの健全育成のため、学校と保護者、地域住民が知恵を出し合い、「地域とともにある学校」を実現するための制度です。学校と地域が今まで以上に、双方の顔が分かる関係になり、地域の子供に声を掛ける機会を増やすとともに、学校が保護者や地域の方と一緒に教育課題の対策を考え、実行に移すことで教育のより一層の充実を目指していきます。

【令和6年度 学校運営協議会委員・学校関係者評価委員】

4/26(金)、7/2(火)に学校運営協議会並びに学校関係者評価委員会を開催しました。今年度、坂戸市教委より委嘱された本校の委員の皆様をご紹介します。(順不同)

- ◎ □□ □□ 様 (スクールガード・リーダー、学校応援団長)
- □□ □□ 様 (女子栄養大学専任講師)
- □□ □□ 様 (関間地区代表)
- □□ □□ 様 (千代田地区代表)
- □□ □□ 様 (南小地区民生委員・児童委員代表)
- □□ □□ 様 (坂戸市立坂戸中学校校長)
- □□ □□ 様 (坂戸市立千代田中学校校長)
- □□ □□ 様 (坂戸市立南小学校PTA会長)

★1年間、どうぞよろしくお願いいたします！
□ 議事録は学校ホームページに随時掲載します。

【南小通学区・交通指導員さんの紹介】

市の交通対策課より派遣され、毎朝、児童の安心・安全のために登校の見守りや交通安全教室のご指導をしてくださっている交通指導員さん。改めてご紹介します。

- □□ □□ 様 (女子栄養大・筑波大附属坂戸高付近)
- □□ □□ 様 (関間地区東武東上線踏切付近)

★これからも、どうぞよろしくお願いいたします！

【校長室より】『七夕の短冊に託した願い』

織姫と牽牛の伝説でも知られる七夕。別名「星祭り」。夜空に輝く「夏の三角形」を探した子供の頃が懐かしい。この時期、七夕飾りは日本全国の風物詩。本校でも、学校図書ボランティアの皆さんが、素敵な七夕飾りの装飾を施してくださった。五色の短冊に書かれた子供たちの願いを読ませてもらう。『○○が、できるようになりますように』、『(将来)☆☆になれますように』、『家族みんなが元気で仲良くいられますように』。純真な子供たちの素敵な願いに心洗われる。『南っ子たちの元気な笑顔と成長の姿が、これからもたくさん見られますように』。今年度も心の中の短冊に願いを託す。

